

アフリカ健康構想における ガーナの保健課題解決に向けた知見共有会

本イベントでは、ガーナの保健課題解決に向けた取組を行っている有識者、日本企業、政府及び関係機関から、第一部では「ガーナが抱える保健課題やガーナ関連の取組」、第二部では「ガーナにおける保健医療ビジネス、事業展開状況等」に関して発表いただきます。アフリカ健康構想の推進を念頭に、ガーナで事業を展開している、もしくは今後展開を検討している日本企業の皆様に向けた情報発信を目的としております。



更に、イベント終了後には対面参加者による名刺交換やコミュニケーションの場として参加者交流会の実施を予定しております。

ガーナをはじめアフリカ諸国での保健医療ビジネス、事業展開に関心を有する日本企業の皆様にとって、有意義な場にしたいと考えておりますので、奮ってご参加ください。

2025年3月11日(火) 16:30-19:30 (日本時間)

▶18:30-19:30は会場参加者限定の交流会を実施します

プログラム(予定)

- 第一部 ガーナにおける日本政府・関係機関の取組と現地の保健課題について
日本政府・関係機関のガーナ関連の取組と、有識者等によるガーナの現状の共有
- 第二部 日本企業のガーナでの取組について
ガーナに進出している日系企業による展開事例の共有
- 第三部 参加者交流会(現地参加のみ)

開催方法

● ハイブリッド開催

会場案内

● ベルサール神田

3階 Room1(東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル)

オンライン

● ZOOM ウェビナー

申込み後にリンクをお送りいたします

お申込み方法

下記より申込みフォームにご入力ください。

<https://forms.office.com/r/jxFJDNFTHj>



※複数人でご参加を希望される場合、お一人ずつ申込フォームにご記入ください

※会場参加は申込み順で先着70名になりますので、ご了承ください。

申込み期限

2025年3月10日(月)正午まで

- 主催
内閣官房
健康・医療戦略室

- お問い合わせ先 (平日9:30- 18:30)
株式会社メディヴァ
Ghana_seminar@mediva.co.jp

本セミナーは内閣官房健康・医療戦略室の委託を受けて、株式会社メディヴァが事務局を行っています。

第一部 16:30～17:30

ガーナにおける日本政府・関係機関の取組と 現地の保健課題等について

プログラム	内容	登壇者
1-1. 開会の挨拶	開会の挨拶	内閣官房 健康・医療戦略室 三浦 聡 企画官
1-2. 日本政府の取組	アフリカ健康構想について	内閣官房 健康・医療戦略室 片岡 真理華 参事官補佐
	内閣官房R6年度アフリカ健康構想調査事業の 成果紹介	有限責任監査法人トーマツ ガバメント&パブリックサービシーズ 櫻井 理 シニアマネジャー
	ガーナ渡航ミッション・ ガーナ等訪日ミッションの紹介	経済産業省 ヘルスケア産業課 水口 怜斉 課長補佐
1-3. ガーナの状況	西アフリカにおけるガーナのポジションと 日本企業の取組	アフリカビジネス協議会 佐藤 隆正 事務局長
	ガーナの保健課題、ガーナ政府が注力する 保健政策	JICA 萩原 明子 国際協力専門員(保健)

第二部 17:30～18:30

日本企業のガーナでの取組について

プログラム	内容	登壇者
2-1. 事業展開の事例	スタートアップ企業の西アフリカ事業戦略	SORA Technology株式会社 金子 洋介 CEO (オンライン登壇)
	ガーナにおける事業展開事例	Sysmex West and Central Africa Mr. Eric Osei, Managing Director (オンライン登壇)
	日本政府・関係機関からの講評 参加者間の質疑応答	日本政府・関係機関
2-2. 閉会の挨拶	閉会の挨拶	内閣官房 健康・医療戦略室 鈴木 秀生 国際保健担当大使

▶ オンラインのプログラム終了 ◀

第三部 18:30～19:30

参加者交流会(現地参加のみ)



現地でご参加される方は、講演終了後にネットワーキングの時間がございます。
登壇者と対面参加者との間で名刺交換やコミュニケーションの場としてご活用いただけます。

佐藤隆正 Mr. Takamasa Sato

JETRO企画部審議役／アフリカビジネス協議会事務局長

1983年ジェトロ入会。1991年ジェトロドアラ(カメルーン)事務所長、日本貿易保険広報グループ長、ブリュッセル、パリ駐在(北アフリカ担当)を経て2017年より2年間、在ストラスブール総領事、欧州評議会オブザーバー大使を務めました。2023年7月よりJBCA事務局長に就任。



萩原明子 Dr. Akiko Hagiwara

JICA
国際協力専門員(保健)

母子保健、栄養改善などの分野で、JICAの国際協力事業に従事しています。母子手帳導入の契機となったガーナEMBRACE実施研究に2012年より参加し、2016年より研究結果の踏まえUNICEF、WHOなどの国連機関とともにガーナ政府が母子手帳を作成、普及を支援しました。母子手帳は2022年以降ガーナ政府が自国予算ですべての母子に配布し、すべての医療機関で活用されています。Ph.D. 米国オハイオ州立大学(Health Promotion)、お茶の水女子大学文教育学部卒業、同修士課程修了。「生きる力を与える母子手帳」(医歯薬出版「医学のあゆみ」)、「生命のパスポート—人々をつなぐ母子健康手帳—」(助産雑誌)など執筆。神奈川県横浜市出身。



SORA Technology 株式会社

● スタートアップ企業の西アフリカ事業戦略

ソラテクノロジー株式会社は、2020年に設立された日本のヘルステック企業であり、ドローンとAIを活用してグローバルヘルス分野の社会課題解決に取り組んでいます。ガーナへの進出は、データ収集能力や野口研究所の研究基盤を評価し、決定しました。ドローンとAIを活用したマラリア対策ソリューションを展開し、発生源の特定と殺虫剤の散布を実施しています。Proof of Concept (POC)を完了し、WHOのマニュアル改定にむけたエビデンス収集を進め、国際的な評価を得ています。

また、同社は新興国で培ったドローンの運用技術を先進国へリバースイノベーションすることを目指し、「宙(SORA)を活用した災害・疫病に負けない持続可能な社会」の実現に貢献しています。



<https://sora-technology.com/>

Sysmex West and Central Africa

● ガーナにおける事業展開事例

Sysmex West and Central Africa (SWCA) は、シスメックス株式会社のガーナ現地法人であり、アフリカ西部・中央部における事業を統括する地域拠点 (Sub-regional Headquarter) として機能しています。検体検査領域においてヘマトロジー、尿、血液凝固などの分野で、製品・サービスを提供し、医療の質向上に貢献しています。

SWCAは事業展開において現地の医療人材育成を重視しており、医師・検査技師・バイオメディカルエンジニア向けのトレーニングを通じて、検査品質の向上を支援しています。また、医療機関に加えて官民および民間の連携を通じて、現地の医療課題解決や持続可能な医療インフラの構築を推進しています。



<https://www.sysmex-wca.com/>